

2016年9月15日

## ダイソン、英国本社に2億5,000万ポンド(約450億円\*)を投じた テクノロジーキャンパス(研究開発センター)を新たに開設



◆23万㎡に広がる敷地内に現在進行中の200件におよぶ技術プロジェクトに関わる研究室を新たに129開設

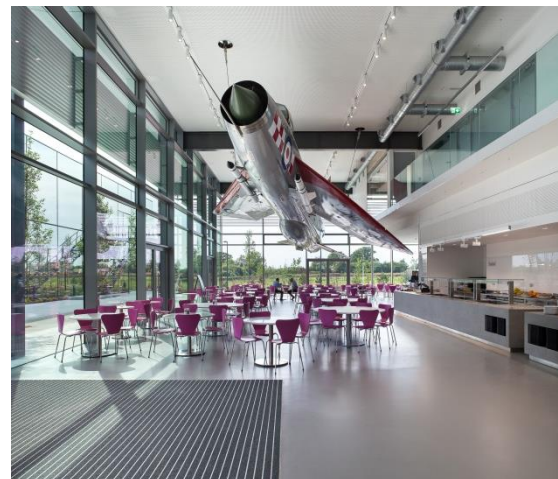
◆毎週500万ポンド(約9億円)を研究開発に投じ、製品開発で用いられるラピッド・プロトタイピング用粉末の使用量は英国随一

◆ロボット工学では英国最大の投資を実施、9月に英国プリストルにソフトウェアの新しい開発拠点を開設

ダイソンは2016年9月、本社英国・ウィルトシャー州マルムズベリーに、2億5,000万ポンド(約450億円)を投じた新たなテクノロジーキャンパスを開設しました。設計を手がけたのは、23年にわたり協働してきた建築家のクリス・ウィルキンソンとダイソンの創業者 ジェームズ・ダイソン。キャンパス内には、129の研究室、プロトタイピングスペース、設計機に加え、共同プロジェクトのための談話スペースが併設。また、従業員用の多目的スポーツ施設やカフェが新設され、構内に大学キャンパスの趣を添えています。

新しい研究開発棟「D9(ディーナイン)」では、モーター、ソフトウェア、エレクトロニクス、電力貯蔵、ロボット工学、パーソナルケア等の分野に関する、最も機密性の高いプロジェクトのコンセプト開発が行われます。建材に大型の建築用ミラーガラス、鉄骨の柱を用い、床と屋上にはコンクリートを使用。ミラーガラスは、機密の漏えいを防ぎ、熱損失を抑えると同時に、施設自体を周囲の美しい風景に溶け込む役割を果たします。

テクノロジーキャンパスには数々のデザインアイコンが設置されています。ハリヤー・ジャンプ・ジェット、半分に切られたミニ・クーバー、ベル47ヘリコプターなどに加え、新設されたカフェの天井からは、復元された冷戦時代のイングリッシュ・エレクトリック・ライトニング・ジェットが吊り下げられています。



新設のカフェの天井に吊り下げられている  
イングリッシュ・エレクトリック・ライトニング・ジェット

ロボット工学の研究に注力するダイソンは、ハードウェア、ソフトウェア両分野への研究開発に継続的な投資を行います。その一環として、2016年9月には、英国プリストルにソフトウェアの新しい開発拠点を開設します。この開発拠点はプリストルで広がるスタートアップ・コミュニティの一翼を担い、未来のダイソンソフトウェア・エンジニアを募る大規模な求人活動の第一歩にもなります。この施設を拠点とするスタートアップチームは、Dyson Linkアプリのさらなる強化と将来のIoT技術を見据え、ダイソンのソフトウェア・エンジニアリングチームと共に業務にあたります。



ダイソンの創業者のジェームズ ダイソンは、次のように述べています。

「エンジニアリングのヒントやデザイン アイコンに囲まれた刺激的な空間で、優れたエンジニアが批判的に物事を見つめればこそ、アイデアに命が吹き込まれ、市場で評価される製品が生まれます。試験設備を充実させた新しい研究室や空間にて、エンジニアはあらゆる失敗を教訓として、革新的なテクノロジーの開発に継続的に取り組むことができます。」

CEOのマックス コンツは次のように述べています。

「テクノロジーキャンパスは、ダイソンのテクノロジーが芽吹き、商業的な形を成すまでを育む場です。ダイソンが世界規模で成長する中、研究と施設、若く優秀な人材への投資があつてこそ、ここウィルトシャー州の田園地帯の真ん中で『問題を解決するテクノロジーの創出』というダイソンのミッションに取り組み続けることができるのです。」

ウィルキンソン エアの創業者兼ディレクター、クリス ウィルキンソンは次のように述べています。

「我々はジェームズ、そして彼のチームと長年にわたって本プロジェクトに取り組み、変化するニーズに対応するテクノロジーキャンパスを作り出しました。最新の施設は革新的で最新鋭の設計研究設備、終日営業の大型カフェやスポーツ施設を備えており、ダイソンのクリエイティブな若い従業員の技術的ニーズだけではなく福利厚生 の要望にも応えます。」

#### 設計事務所ウィルキンソン エアについて

クリス ウィルキンソンの設計事務所であるウィルキンソン エアは、RIBAスターリング賞およびRIBAルベトキン賞を2度受賞するという経歴を有しています。ウィルキンソン エアの大胆で美しく、インテリジェントな作品には、世界有数の超高層ビルである広州国際金融センター、シンガポールのガーデンズ・バイ・ザ・ベイの広大な冷却温室、ポーツマスの新メアリー・ローズ博物館、オックスフォードのボドリアン図書館の新しい建物などがあります。現在同設計事務所は、ロンドンのバターシー発電所の改築、シドニー、メルボルン、トロントの新しいタワーなどのプロジェクトに取り組んでいます。

#### データで見るダイソン:

- 過去4年間でダイソンの売上高は2倍以上、テクノロジーへの投資は3倍。
- 90%のダイソン製品が、英国外で販売されており、現在、世界の75の市場で展開。
- 3,000: 2021年までに世界で3,000人のエンジニアを追加採用予定
- 6,700万: 世界のダイソンオーナーの人数
- 1,800億円: 米国ミシガン州を拠点とする新しい固体電池企業 Sakti3(サクティスリー)の子会社化に伴う電池技術への長期的な投資。
- 9億円: ダイソンでは30校を超える大学と共同で、さまざまなテクノロジーの初期開発を行っています。その一環として、ケンブリッジ大学での流体力学講座や、インペリアル・カレッジ・ロンドンとの共同運営によるロボット工学研究所に500万ポンド(約9億円)を投資。
- 2,000万: シンガポールにおけるダイソン・デジタル・モーターのこれまでの製造数。
- 7,500: 世界各国での特許申請数。
- 450: 2016年1月から8月までのダイソンの特許申請数。
- 6.5トン: 新しいカフェに吊り下げられたイングリッシュ・エレクトリック・ライトニング・ジェット の重量。

#### 2015年度財務情報

- 売上高: 昨年比26%増の17億ポンド(約3,060億円)。ダイソン製品に対する世界的な需要が牽引。
- 利益: 昨年比19%増の4億4,800万ポンド(約806.4億円)。
- 新しいテクノロジーへの投資: 2億600万ポンド(約371億円)に増加。
- 中国では3倍の成長。グローバルな成長は成熟市場が牽引。

※1ポンド=180円で換算しています。以下、同じ。

ダイソン株式会社

Website: <https://www.dyson.co.jp/>